

令和6年度 活動報告書



国立大学法人
北海道国立大学機構

帯広畜産大学
産学連携センター

■ 目次

・ 活動報告書発行にあたって	1
・ 組織体制	2
・ 第4期中期計画と令和6年度実施結果	3
・ 活動実績	6
・ 活動実績詳細一覧	7
・ 産学連携センター内会議議題等一覧	9
・ 受託研究・共同研究受入実績の推移	14
・ 企業等集積プラットフォームニュースレター (vol. 11~vol. 16)	15

■令和6年度 活動報告書発行にあたって

国際情勢はかつてないほど複雑化し、ウクライナにおけるロシアの侵攻や中東地域の緊張の高まりは、十勝の基幹作業である農畜産業に大きな影響を与えてきました。さらにトランプアメリカ大統領就任に伴う相互関税の圧力は我が国の自動車産業だけでなく、十勝の農畜産業への更なる影響拡大が懸念されるところであります。

このような厳しい情勢の中、私達は地域に貢献する産学連携センターを目指し、企業等集積プラットフォーム参画企業や十勝管内の自治体、農協等に直接お伺いしながら対話を重ねてきました。そこで得られたニーズをもとに産学官金交流会や畜産シンポジウムなどの各種交流会を開催することで、地域の皆様と一緒にニーズの深掘りや課題の明確化・連携の醸成を進めてきた所です。

令和6年度は、特に状況が厳しい酪農産業の持続可能な発展に向け「ミルク&チーズコンソーシアム」を設立し、キックオフシンポジウムを皮切りに、チーズ製造学短期研修会といった教育プログラムの企画・実施や新規乳製品開発に向けた体制の構築を進めてまいりました。また、地域ニーズの高い「新規自給飼料」「獣害対策」「ICT 農畜産技術実証の推進」などのテーマについても各関係機関のご協力を頂きながらコンソーシアム化あるいは共同研究による研究開発の推進に向け準備を進めてまいりました。これらの活動を通じ企業等集積プラットフォーム内企業参画数は99機関に広がっています。

今年度は、昨年10月に立ち上げました「次世代農畜産技術実証センター」と連携し、地域課題を解決に資する大学研究成果の社会実装を加速させていきます。同センターは、本学の大規模圃場や新牛舎、さらには地域の提携している連携農場と、現場レベルでの技術実証を推進するセンターです。これまで立ち上げた「未利用資源コンソーシアム」や「ミルク&チーズコンソーシアム」の活動に相乗効果が出ることも期待しています。引き続き、地域ニーズの高いテーマを探りつつ地域の皆様と一緒に地域の課題解決に全力を尽くしてまいります。また、北見工業大学と小樽商科大学との経営統合も3年が経過し、農商工連携による分野融合型の共同研究が進んできました。例えば北見工業大学のセンサー技術と帯広畜産大学の牧草研究の連携による「牧草刈取りトラックガイダンスシステム」の開発については、既に現場での実証段階に入っており、近い将来の販売が期待されています。

地域の皆様や企業の皆様の課題解決は、決して低いハードルではありませんが、北海道国立大学機構、大学関係部門、研究機関の皆様と連携し、これからも地域に貢献する産学連携の強化に取り組んで参ります。これまで同様にご指導ご鞭撻お願い申し上げます。

令和7年5月

国立大学法人北海道国立大学機構

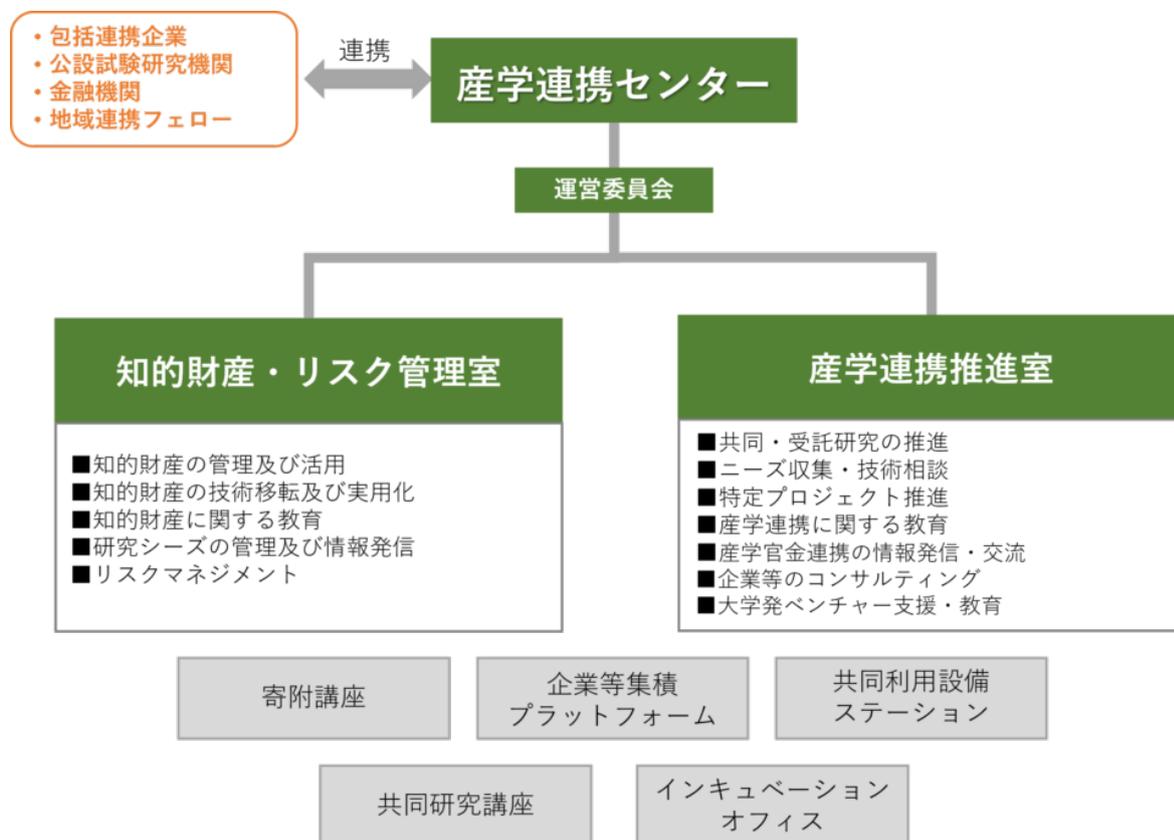
帯広畜産大学 産学連携センター長 岡田 繁

令和6年度 組織体制

1. スタッフ

センター長	岡田 繁（特任教授・産学連携センター）
副センター長	東 陽介（准教授・産学連携センター）
産学連携推進室長	三上 奈々（准教授・グローバルアグロメディシン研究センター）
産学連携担当教員	大庭 潔（特任教授・産学連携センター）
産学連携担当教員	高谷 政宏（特任助教・産学連携センター）
知的財産・リスク管理室長	宮竹 史仁（教授・環境農学研究部門）
共同利用設備ステーション長	得字 圭彦（准教授・人間科学研究部門）
マネージャー（知財担当）	嘉屋 元博
研究支援課主任（コーディネーター）	高橋 悠

2. 体制図



■第4期中期計画と令和6年度実施状況

第4期中期計画（令和4年度から令和9年度まで）

計画番号 26

令和3年度までに構築したインキュベーションオフィス入居企業との連携体制、企業等集積プラットフォームをもとに、地域の主要産業の活性化や課題解決に寄与するとともに、新たな外部資金獲得を目的とした2件以上の研究コンソーシアム及び共創ファンドを設立する。

また、オープンイノベーションセンターとの連携により、社会実装につながる小樽商科大学及び北見工業大学との研究開発を促進し、本学主導による地域課題解決を志向した分野融合型共同・受託研究を8件以上実施する。

令和6年度実施計画

- ★企業等集積プラットフォーム入会への呼び水とするため、交流会等を実施する。企業等集積プラットフォーム内企業等との連携により、「ミルク&チーズコンソーシアム」（1件）を設置するとともに、運営体制を整える。既存のもの含めコンソーシアム関連機関での競争的資金獲得1件以上を目指す。また、新たなコンソーシアム形成に向けた調査・交流会を実施する。
- ★オープンイノベーションセンターや機構各大学と連携し、分野融合型の新たな共同研究を企画・実施（3件）する。
- ★令和5年度までに試行的に整備した体制を踏まえ、共創ファンドを設立するとともに、寄付金を獲得（600千円）する。

令和6年度実施結果

- 企業等集積プラットフォーム参画者や十勝管内全市町村ヒアリングを通して収集したニーズを基に交流会（畜産シンポジウム[227名]、産学官金交流会[159名]、交流会 mini（害獣対策[65名]、公共牧場[30名]、スクラムとかちシンポ[125名]等）を企画実施した。

また、酪農産業の持続可能な発展において国内トップレベルの乳・乳製品の教育研究拠点を形成する「ミルク&チーズコンソーシアム」を設立・運営体制を整えた。同プラットフォームのキックオフシンポジウム（畜産シンポジウム[11/28]）の開催、外部希望者向けのチーズ作り実習[11/22~24]等を開催した。なお、コンソーシアム関連機関で新規乳製品研究開発テーマの検討や令和7年5月の内閣府交付金応募に向けた準備を進めている。

さらに、未利用資源コンソーシアムについては、参画企業との連携により十勝管内の未利用資源データベース作りを推進すると同時に、環境研究総合推進費（約5,000万円・3年）を獲得した。

加えて、地域ニーズが期待されている「新規自給飼料の実装」「害獣対策」「ICT 農畜産技

術実証の推進」といった新規テーマについてコンソーシアム形成の調査検討を行い、「新規自給飼料の実装」はスクラム十勝の枠組みを基盤に検討会を発足し啓発ホームページを試作、酪農 DX に関する交流会を十勝農協連で実施し、技術ロードマップ検討会をスタートさせた。これらの活動により、企業等集積プラットフォーム内企業の参画企業は 99 社月末現在)となった。

- オープンイノベーションセンターや機構各大学と連携し、今年度も 3 件（新規 1 件・継続 2 件）の分野融合型共同研究を企画・実施した。その中から、研究成果を用いた牧草トラックガイダンスシステムの体験会、ジュエリーアイスの観光予測ホームページ情報発信や中札内村の公共育成牧場に関する「住民向け情報発信だより」の発行など、研究成果を実際に使った活動が始まっている。
- 「地域共創ファンド」を設立し、次世代農畜産技術実証センターなどと連携しながら運用を行っている。寄附金の令和 6 年度獲得額は 400 千円。寄付依頼した機関のうちの一部は機構が作ったモノづくり・人づくり基金の方に寄付されている。

計画番号 29

大学の更なる研究環境の充実のため、研究設備・機器共用の経営戦略への位置づけの明確化、中長期的かつ戦略的な整備、運用等を目的とした「戦略的設備・機器運用計画（共用設備・機器マスタープラン）」を令和 5 年度までに策定し、全学的な設備共用体制を再構築するとともに、産業界や外部研究機関との研究設備・機器の相互利用や技術協力等の連携を推進する。

令和 6 年度実施計画

- ★令和 5 年度に策定した、本学「研究設備・機器マスタープラン（2024 暫定版）」に基づき、運用に必要な体制を整備するとともに、全学的な機器の共用化を推進する。
- ★北見工業大学との設備・機器の相互利用を促進するため、施設見学会や共同セミナーを継続して実施するとともに、研修会の実施等により技術職員の育成を協力して行い、機器・設備共用システムの共通化を推進する。
- ★また、更なる外部機関からの利用促進を図るため、令和 5 年度までに構築してきたとかち財団との連携体制をもとに、設備・機器の相互利用を実施するとともに、公設試や企業等との技術協力を含めた連携を強化する。

令和 6 年度実施結果

- 「研究設備・機器マスタープラン（2024 暫定版）」等に基づく、中長期的な設備の整備・運用に必要な体制として、「教育研究設備マネジメント委員会」が整備された。また、全学的な機器共用化の推進を図ることとして、教員管理の研究機器（1 件）を共用化した。
- 北見工業大学との設備・機器の相互利用や共用システムの共通化をさらに推進するため、施設見学会や職員の技術支援（4 月）、共同セミナー（10 月）を実施した。
- また、外部機関からの利用促進を図ることとして、主に本学と十勝管内の協定締結機関に対する連携を強化した結果、今年度は 7 件の外部利用があった。
- 更なる外部機関からの利用促進を図るため、令和 5 年度までに構築してきたとかち財団との

連携体制をもとに、設備・機器の相互利用について調整を進めているほか、同財団以外のスクラム十勝構成員に対しても働きかけを行った結果、延 2 件の利用があったほか、外部機関との技術協力を含めた連携強化を目的として実施した技術セミナーに 1 機関からの参加があった。

令和6年度 活動実績

● 産学連携イベント開催等、受託研究・共同研究

- ・ 第8回産学官金連携交流会 mini 開催（8月29日）
- ・ 産学官金連携交流会開催（9月6日）
- ・ スクラム+勝シンポジウム（10月22日共催機関として開催）
- ・ 第9回産学官金連携交流会 mini 開催（11月25日）
- ・ 第2回畜大シンポジウム開催（11月28日）
- ・ 地域連携フェロー連絡会議（7月8日）
- ・ 企業等集積プラットフォームニュースレター発行6回
- ・ 受託研究、共同研究受入総件数 160件
- ・ 受託研究、共同研究受入合計額 187,767千円

● 出展・技術移転、知的財産権

- ・ 北洋銀行知財ビジネスマッチング2024（4月25日）
- ・ 北洋銀行ものづくりサスティナフェア2024（7月24日）
- ・ JST 大学見本市2024 イノベーション・ジャパン（8月22-23日）
- ・ 北海道理工系大学・高専・公設試新技術説明会（10月1日）
- ・ ビジネスカンファレンスイベント「KAIKON-開墾-」（10月16-17日）
- ・ ビジネス EXPO（11月7-8日）
- ・ 発明等届 8件
- ・ 特許出願 4件
- ・ 特許登録 4件
- ・ 出願前譲渡 2件

● 共同利用設備ステーション

・ 登録機器

共通機器室管理：75台、教員管理：28台（学内）

共通機器室管理への新規導入：3台、新規登録：1台

教員管理の新規導入：1台、教員管理への登録変更：1台

- ・ 利用申請者 250名
- ・ 機器説明会 20回開催
- ・ 北見工業大学共用設備センターと第3回共用機器利用促進セミナーを共催。
- ・ 教員参加による北見工業大学共用設備センターの施設見学を実施。
- ・ 北見工業大学共用設備センターと共通機器の相互利用を継続。
- ・ 学外の企業や研究機関による機器の利用回数：18回

令和6年度 活動実績詳細一覧

活動実績	開催日・場所
[会議出席] 農研機構・北海道スマートフードチェーンプロジェクト事業化戦略会議 2024	令和6年4月18日 STV ホール
[施設見学] 北見工業大学共用設備センター	令和6年4月24日 北見工業大学
[イベント開催] 北洋銀行知財ビジネスマッチング 2024	令和6年4月25日 北洋大通センタービル
[公募型共同研究の実施] ・帯広市との連携事業「学生と地域がつながるまちづくり支援事業」 ・令和6年度 ACE（オープンイノベーションセンター）促進共同研究	令和6年5月 ～令和7年3月
[セミナー参加] 北海道国立大学機構シンポジウム	令和6年5月23日 日経カンファレンスルーム
[会議開催] 帯広畜産大学地域連携フェロー連絡会議	令和6年7月8日 帯広畜産大学
[展示会出展] 北洋銀行ものづくりサスティナフェア 2024	令和6年7月24日 アクセスサッポロ
[セミナー参加] 北海道の酪農 DX を考えるセミナー&見学会	令和6年8月19日 JA 道東あさひ会議室
[展示会出展] JST 大学見本市 2024 イノベーション・ジャパン	令和6年8月22, 23日 東京ビックサイト
[展示会参加] 環境広場さっぽろ 2024	令和6年8月24, 25日 大和ハウスプレミストドーム
[セミナー開催] 第8回帯広畜産大学 産学官金連携交流会 mini	令和6年8月29日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[セミナー開催] 令和6年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会	令和6年9月6日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[セミナー参加] 令和6年度第1回北海道地区大学等安全保障貿易管理ネットワーク勉強会	令和6年9月27日 北海道大学事務局2号館
[イベント開催] JST 北海道理工系大学・高専・公設試新技術説明会	令和6年10月1日 オンライン開催
[展示会参加] 第3回サーキュラー・エコノミーEXPO	令和6年10月2日 幕張メッセ
[セミナー参加] 機器・分析センター協議会 令和6年度 総会・技術職員会議・シンポジウム	令和6年10月11日 新潟大学
[展示会出展] ビジネスカンファレンスイベント「KAIKON-開墾-」	令和6年10月16, 17日 LAND ほか
[セミナー開催] 第3回共用設備利用促進セミナー	令和6年10月21日 北見工業大学 (オンライン開催)
[セミナー開催] スクラム+勝シンポジウム 2024～今後の食料、農業及び農村について～	令和6年10月22日 十勝プラザ (現地&オンライン開催)
[会議出席] 令和6年度北海道地域大学等知的財産部門連絡会議	令和6年10月25日 函館コミュニティプラザ

[展示会出展] ビジネス EXPO 第 38 回北海道技術・ビジネス交流会	令和 6 年 11 月 7, 8 日 アクセスサッポロ
[セミナー参加] シーズ・ニーズマッチングシンポジウム 2024	令和 6 年 11 月 14 日 北見工業大学
[会議出席] 帯広畜産大学・道総研連携協議会	令和 6 年 11 月 21 日 帯広畜産大学
[展示会参加] アグリビジネス創出フェア	令和 6 年 11 月 26, 27 日 東京ビックサイト
[セミナー開催] 第 2 回畜大シンポジウム	令和 6 年 11 月 28 日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[展示会参加] 国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム	令和 6 年 12 月 4 日 アクセスサッポロ
[セミナー開催] 第 9 回帯広畜産大学 産学官金連携交流会 mini	令和 6 年 11 月 25 日 中札内村農村環境改善センター
[見学会参加] 2024 年度北海道生産性本部十勝地区支部「企業見学会」	令和 7 年 1 月 30 日 北電苫東厚真発電所他
[セミナー参加] カンボジア ABS 対応セミナー	令和 7 年 2 月 5 日 オンライン
[会議参加] 令和 7 年度北海道コントラクター組織連絡協議会春季研修会	令和 7 年 2 月 18 日 北海道自治労会館
[会議出席] オープンイノベーションセンター全体会議	令和 7 年 2 月 28 日 エア・ウォーターの森
[セミナー開催] 令和 6 年度北海道国立大学機構 ACE・IIC 合同 FD・SD 研修会	令和 7 年 3 月 7 日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)

■産学連携センター一会議議題等一覧

1 産学連携センター運営委員会

第1回（持ち回り） 令和6年6月20日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 帯広畜産大学産学連携センター利用料金等の基準に関する要項の一部改正等について
第2回 令和6年12月16日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 客員教員候補者について ▪ その他 <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和6年度計画の進捗状況について ▪ 大学発ベンチャーの認定にかかる期間延長について ▪ インキュベーションオフィスのあり方の見直しについて ▪ その他
第3回 令和7年2月17日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 産学連携センター長及び副センター長候補者の推薦について ▪ インキュベーションオフィスの見直しについて ▪ 帯広畜産大学産学連携センター利用内規の一部改正について ▪ 帯広畜産大学産学連携センター利用料金等の基準に関する要項の一部改正について ▪ 運営委員会構成員の追加について ▪ その他
第4回（持ち回り） 令和7年3月21日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 帯広畜産大学地域連携フェローの称号付与について

2 産学連携推進室会議

第1回 令和6年4月12日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 産学連携推進室の活動について ▪ 日本政策金融公庫の専門人材登録について ▪ 令和6年度 産学官金連携交流会等の企画について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 産学連携に係る年度計画およびKPIについて ▪ 技術相談対応、受託・共同研究の受入状況について <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 大型の外部資金獲得に向けて
第2回 令和6年6月10日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究開発コンソーシアムの新規設置について ▪ 令和6年度 産学官金連携交流会等の企画について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究開発コンソーシアムの活動報告及び継続について ▪ 受託・共同研究受入状況について

<p>第3回 令和6年10月3日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 受託・共同研究の受入状況と件数増加に資する取組みについて ▪ 第2回 畜大シンポジウム企画案について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和6年度 産学官金連携交流会開催報告 ▪ 大学見学・技術相談対応状況について ▪ 令和6年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業の採択について <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 次世代農畜産技術実証センターの設置について
<p>第4回 令和7年1月14日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和7年度 研究活性化支援策について ▪ 日本政策金融公庫のサポート人材の登録について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 受託・共同研究受入状況について
<p>第5回 令和7年3月11日</p>	<p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 受託・共同研究の受入状況について ▪ 産学連携推進室の活動状況について ▪ 令和7年度の室体制について <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和7年度 産学官金連携交流会企画検討に向けて

3 知的財産・リスク管理室会議

<p>第1回 令和6年4月30日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (6-1) ▪ PCT 出願について (5-3) ▪ 特許権の維持について (27-11) ▪ 審査請求について (31-7, 8) ▪ 今年度の出展について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 出願判断基準や届出等の様式について
<p>第2回 令和6年5月21日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について (22-8, 27-10, 29-8) ▪ 特許権の維持について (26-7) ▪ 特許権の維持について (28-7) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 知的財産管理費収支について (令和5年度)
<p>第3回 令和6年6月20日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (6-3) ▪ 発明届について (6-2) ▪ 特許権の維持について (20-22) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 商標登録について
<p>第4回 令和6年8月1日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について (3-4)

	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について(28-6) ▪ 拒絶査定不服審判について(31-8)
<p>第5回 令和6年9月24日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について(S6-1) ▪ PCT出願について(5-9) ▪ 特許権の維持について(24-8 米国)
<p>第6回(持ち回り) 令和6年10月15日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 意匠権の権利維持について(I29-1)
<p>第7回 令和6年10月31日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について(OB02024-4) ▪ 特許権の維持について(26-8, 26-11-1, 2) ▪ 特許権の維持について(28-10) ▪ 特許権の維持について(29-1-1, 2, 3)
<p>第8回 令和6年11月20日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について(5-8 優先権主張出願) ▪ 審査請求について(2-12) ▪ 特許権の維持について(24-8, 31-4) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許登録について(31-3) ▪ 特許登録について(2-3)
<p>第9回 令和6年12月11日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について(OB02024-5) ▪ 特許権の維持について(21-3, 4) ▪ 大学発ベンチャー称号付与について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許登録について(2-5)
<p>第10回 令和7年1月17日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について(OB02024-6) ▪ PCT出願について(5-10) ▪ 特許権の維持について(19-1) ▪ 特許権の維持について(20-1) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許登録について(31-8) ▪ マテリアルマネジメントコンソーシアムについて
<p>第11回(持ち回り) 令和7年2月14日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について(OB02024-7) ▪ 特許権の維持について(17-4) ▪ 拒絶査定不服審判について(31-7)

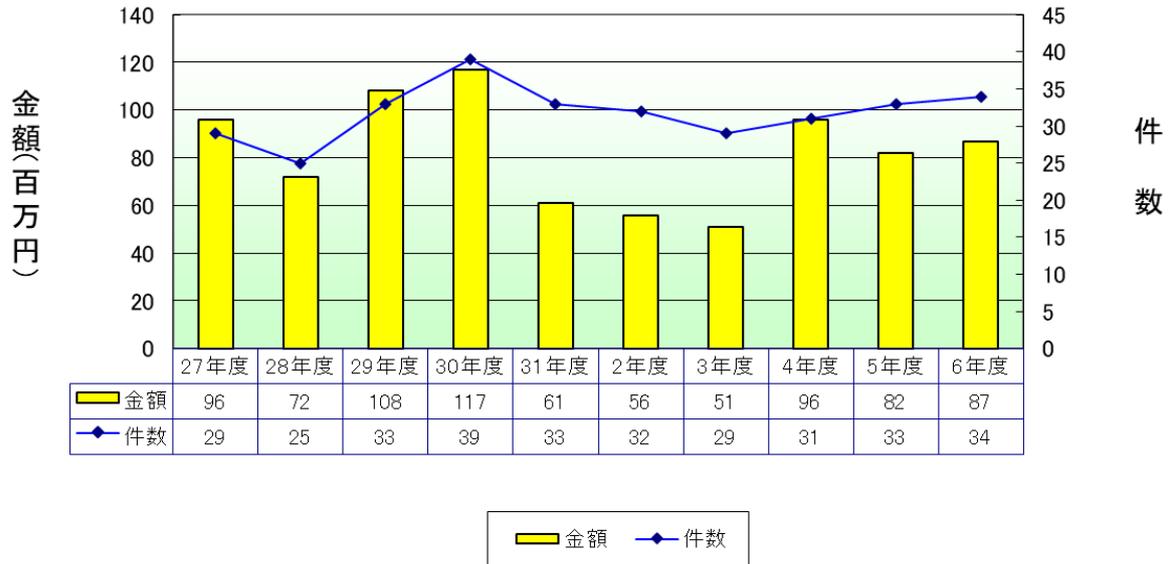
4 共同利用設備ステーション会議

<p>第1回（持ち回り） 令和6年5月1日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 高速アミノ酸分析装置の管理責任者等の改定について
<p>第2回 令和6年6月4日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和6年度計画について ▪ 今年度予算と執行予定について ▪ 各種利用申請のオンライン化と押印廃止について ▪ 利用料金の改定について（R6年度） <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 第1回持ち回り会議 審議結果について 「高速アミノ酸分析計」の管理方法について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 北見工業大学共用設備センターの訪問について ▪ 機器説明会について <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和5年度活動報告書（産学連携センターから抜粋） ▪ 活動カレンダー（2023年度・2024年度）
<p>第3回（持ち回り） 令和6年6月21日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ レシオビーム分光光度計の共通機器登録について ▪ 令和7年度概算要求について ▪ 共通機器を利用した研究成果に関する調査の実施について
<p>第4回 令和6年9月30日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 第3回共用機器利用促進セミナーの開催について ▪ 共通機器室アンケート実施について ▪ 研究機器マップ更新について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究設備・機器の共用方針の策定等に向けた検討委員会について ▪ 年度計画の進捗について ▪ 第1四半期利用料収入と予算執行状況について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 機器説明会について
<p>第5回 令和6年12月23日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 次年度の予算要求について ▪ 教員等が管理する共通機器の管理者変更について ▪ 新規導入機器の利用料について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究設備・機器の共用方針の策定等に向けた検討委員会について ▪ 年度計画の進捗について

	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和6年度機器分析センター協議会総会・シンポジウム・技術職員会議について ▪ 共通機器室アンケート結果について ▪ 第2四半期利用料収入と予算執行状況について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 機器説明会について
<p style="text-align: center;">第6回 令和7年3月26日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 連外部評価実施について ▪ 連携協定を締結した研究機関にかかる利用料金の設定について ▪ 新規導入機器の利用料について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究設備・機器の共用方針の策定等に向けた検討委員会について ▪ 令和6年度 共同利用設備ステーション活動報告 ▪ 利用料収入と予算執行状況について ▪ 教員等が管理する共通機器の管理者変更について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 機器説明会について <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 共通機器チラシについて

■ 受託研究・共同研究受入実績の推移

受託研究



共同研究





帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol.11 2024.5.13

NEWS

企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報をニュースレターにて定期的に配信していきます。

気になる情報や分からないことがあればお問い合わせフォームまでお寄せください！

プラットフォームの参画状況

参画機関数 87 社（会員人数 110 名）です！

産 75 社
学 2 機関
官 6 機関
金 4 機関

プラットフォーム HP は [こちら](#)



公益財団法人とかち財団と 連携・協力に関する協定を締結

4 月 18 日に、帯広畜産大学は公益財団法人とかち財団と連携・協力に関する協定を締結しました。本協定により連携体制を整備することで、相互の資源をスピーディーかつ効率的に活用し、人材育成や地域の課題解決に取り組んでいきます。

* 詳細は [こちら](#)



産学連携センター長より 令和 6 年度のご挨拶

経営統合した北見工業大学や小樽商科大学と連携した農商工連携プロジェクトも順調に進み、実証フェーズに入るテーマもできてまいりました。また今年度は、本学の恵まれた環境にある圃場や新牛舎を有効活用し、新技術のフィールドにおける実証試験を加速する「次世代農畜産技術実証センター」が立ち上がる予定です。これら大学関係部署と連携しながら地域に貢献する産学連携をさらに強化して取り組んでまいりたいと思います。

* 詳細は [こちら](#)



公募・セミナー情報 & お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

●フードバレーとかち人材育成事業

特別講習「マネジメントコース（入門編）持続可能な経営の基礎を学ぶプレセミナー」

持続可能な企業及び地域マネジメントにご興味がある方、事業者、農業者、団体職員、学生、企業・自治体の方を対象としたセミナーです。（第1回は5/9に開催されました。）

【日時など】第2回 5/16(木) 18:00～19:00 | オンライン開催 (Zoom) | 受講料：無料 *詳細は[こちら](#)

▶ [「マネジメントコース（入門編）」](#)の募集開始（6/6から開始予定 | 5/24（金）正午必着）

インサイトマネジメント(株)の坪井真一氏を講師に、6～8月の間に全10回を受講するコースです。*詳細は[こちら](#)

●人間科学研究部門 第10回研究紹介セミナー

「なぜリスクコミュニケーションか？」の研究紹介セミナーを開催します。

【日時など】日時：5/17(金) 12:10～12:40 | 会場：帯広畜産大学附属図書館1階 | 参加料：無料（事前申込不要）

*詳細は[こちら](#)

●北海道国立大学機構シンポジウム

『北海道から切りひらく日本の未来～食・エネルギー・防災を支えるデジタル空間～/北海道国立大学機構の挑戦』では、三大学の取り組みの一部をご紹介しますとともに多彩なゲストによる講演が行われます。

本学からは環境農学研究部門の宮竹史仁教授による「農畜産業の現状と将来展開」についての研究発表が行われます。

【日時など】日時：5/23(木) 13:30～18:00 | 会場：日経カンファレンスルーム会場またはオンライン | 受講料：無料

*詳細は[こちら](#)

「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演と交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用いただいています。

*リクエストは、お問い合わせフォームからお送りください。



PICK UP!

畜大研究情報

最近の研究情報などをピックアップしてお届けいたします。

(受賞) 山内健生准教授が、都市有害生物管理学会論文奨励賞を受賞しました！

環境農学研究部門 山内 健生 准教授

受賞論文は『北海道帯広市の都市公園「帯広の森」のアリ相』で、帯広の森の自然林と人工林でアリを調査し、種数や種構成の比較を行い、人工林のアリ相は自然林の状態にまで回復していないことを論文で示しました。この論文の筆頭著者は曾川秋恵さん（2021年3月に本学を卒業後、現在は帯広市内の建設コンサルタント会社勤務）で、共同受賞となりました。

山内准教授は「この論文は曾川さんの卒業論文を学会誌へ投稿したものです。指導した学生の研究が評価されて嬉しいです。今後も学生と一緒に研究を進め、昆虫学の発展に寄与できるよう精進したいと思います」と語りました。

(山内健生先生の研究シーズ)「虫の名前を調べます」

◎山内先生の【技術アピール・マッチングニーズ】

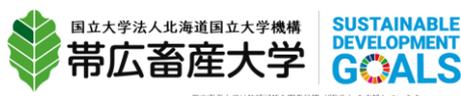
食品・製品混入害虫の同定と侵入経路推定：富山県衛生研究所勤務時に、食品や医薬品などの製品に混入していた虫（例えば、蛾、ハエ、甲虫など）の同定検査業務に従事し、企業向けに報告書を作成してきた実績があります。



リクエスト・相談・お問い合わせフォーム

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームを開設いたします。
プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL : <https://forms.gle/D8CzkX2P1k5yf7LE8>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol.12 2024.7.10

NEWS

企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報をニュースレターにて定期的に配信していきます。

気になる情報や分からないことがあればお問い合わせフォームまでお寄せください！

プラットフォームの参画状況

参画機関数 87 社（会員人数 110 名）です！

- 産 75 社
- 学 2 機関
- 官 6 機関
- 金 4 機関

プラットフォーム HP は [こちら](#)



産学官金連携交流会 mini

(第 8 回) を開催します！

～ アライグマ対策の最前線 ～

十勝管内市町村から要望が高まっている害獣対策、特に最近増加傾向にあるアライグマ対策の最新情報を中心に、関連テーマについて専門家の講演および様々なステークホルダーの皆様と意見交換を行います。

【日付】8月29日(木) 15:30～17:45

【会場】産学連携センター/オンライン配信

“ミルク&チーズ
コンソーシアム”
を設置しました！

*詳細は [こちら](#)

令和 6 年度 産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス” を開催します！

本学の研究開発活動の紹介と同時に教員との交流の場を設け、地域における産学官金連携活動を推進しています。今年度も皆様のご参加をお待ちしております。

【日付】9月6日(金)

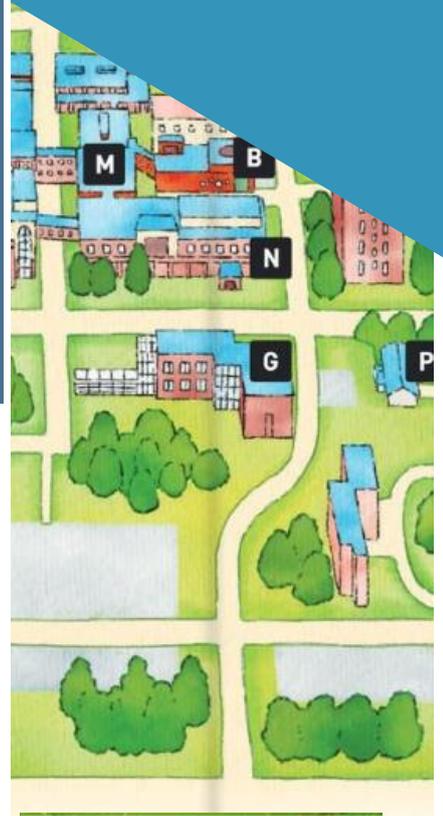
【会場】本学講堂/オンライン配信

令和 6 年度

産学官金連携交流会

大人のオープンキャンパス

～気候変動と十勝の農作物～



CAMPAS MAP
キャンパスマップ

(近日、ご案内いたします)



公募・セミナー情報 & お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

●農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム

令和6年度（第2期生）の募集について

地域農畜産業並びに我が国の農畜産業をけん引する農畜産プロフェッショナル経営人材の育成のため、9月から第2期となる「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム」を開講いたします。

【日時など】（実施期間）2024/9/2～2025/3/14 | 受講料：15万円（申込期間）2024/7/12 必着 *詳細は[こちら](#)

●令和6年度 酪農生産衛生技術研修

酪農生産現場における技術・経営指導者の育成を図るため、酪農現場における課題の発見から改善までの手法を学び、持続的な酪農経営のサポートに必要なスキルの習得をめざす研修を開催いたします。

【日時など】（研修期間）8/5～7 | 受講料：3万円（申込期間）7/12 必着 *詳細は[こちら](#)

●帯広畜産大学野生生物保全管理技術養成事業

野鳥（猛禽類）講習会

野生動物の保全管理事業や調査業務等に携わる担当者の技術向上を目的に、調査技術に関する講習会を開催いたします。

【日時など】（開催日）8/23. 10時～17時30分 | 受講料：1万円（申込期間）7/26 迄（先着） *詳細は[こちら](#)

●北海道国立大学機構シンポジウム（アーカイブ配信あり）

5月23日に、北海道国立大学機構シンポジウム『北海道から切りひらく日本の未来～食・エネルギー・防災を支えるデジタル空間～/北海道国立大学機構の挑戦』が開催されました。

シンポジウムの模様は、動画視聴いただけます。*詳細は[こちら](#)

「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演と交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご利用いただいています。

*リクエストは、お問い合わせフォームからお送りください。



PICK UP!

畜大研究情報

最近の研究情報などをピックアップしてお届けいたします。

〔受賞〕吉川琢也准教授が、石油学会奨励賞を受賞しました！

環境農学研究部門 吉川 琢也 准教授

この賞は、大学・工業高等専門学校又は公的研究機関等に所属する若手の研究者又は技術者で、石油、天然ガス及び石油化学に関連する分野において、独創的な業績を発表したものに授与されます。受賞研究の演題は「二相系オルガノソルブ処理による木質・草本系バイオマスの成分分離と触媒変換」で、木質・草本系バイオマスを対象に、ユニークな二相系溶媒による成分分離技術を開発し、さらに本技術で得られる各構成成分の触媒変換において優れた業績を挙げました。詳しくは[こちら](#)から。

■吉川琢也先生の研究シーズ 「バイオマスをきれいに分けて利用する」

〔受賞〕宮竹史仁教授が、農業施設学会学術賞を受賞しました！

環境農学研究部門 宮竹 史仁 准教授

この賞は、当該学会誌「農業施設」の掲載論文を含む学術論文によって構成される学術上の顕著な研究業績に対して表彰されるものです。受賞題目は「堆肥化技術の最適化と環境負荷低減に関する研究」で、良質な堆肥生産に関わる諸条件の解明、堆肥化からの環境負荷ガスの低減に関する研究や技術開発の進展に貢献したものと高く評価されました。詳しくは[こちら](#)から。

■宮竹史仁先生の研究シーズ 「堆肥化技術・堆肥生産にイノベーションを起こす」

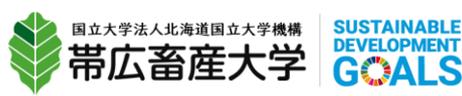
* 技術相談のお問合せは[こちら](#)

[技術相談申込書](#)に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにて産学連携センターまでご送付ください。

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームを開設しています。

プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL : <https://forms.gle/K4zm51tUDYgnb9uT8>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol.13 2024.9.17

NEWS

企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報をニュースレターにて定期的に配信していきます。

気になる情報や分からないことがあればお問い合わせフォームまでお寄せください！

プラットフォームの参画状況

参画機関数 94 社（会員人数 120 名）です！

産 80 社
学 2 機関
官 8 機関
金 4 機関

プラットフォーム HP は [こちら](#)



産学官金連携交流会 mini (第 8 回) を開催しました！

8 月 29 日、産学連携センターにて、『アライグマ対策の最前線』をテーマに、産学官金連携交流会 mini を開催しました。交流会では専門家による 3 つの講演が行われ、60 名以上の方にご参加いただきました。ご意見や質問・感想を多数お寄せいただきました。

* 近日公開、詳細は [こちら](#)



令和 6 年度 産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス” を開催しました！

9 月 6 日、本学講堂にて『気候変動と十勝の農作物』をテーマに、令和 6 年度産学官金連携交流会を開催し、約 160 名の方にご参加いただきました。アンケートには、今後の産学連携活動について多数の課題や要望等をいただきました。

* 近日公開、詳細は [こちら](#)





公募・セミナー情報 & お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

●令和6年度 HACCP・食品安全管理プログラム 帯広セミナー

食品製造・加工に関わる方を対象に、すでに先進的にHACCPシステムを導入している食品加工企業の具体的な運用事例および食品安全に関する情報を提供します。

【日時など】（開催日）10/21.13:30～16:30 | 受講料：無料（申込期間）10/7迄 *詳細は[こちら](#)

●「チーズ製造学 第1回短期研修会」

乳業業界の第一線で活躍している技術者・研究者を講師に迎え、下記のとおりチーズ製造学 第1回短期研修会を実施します。

【日時など】（開催日）10/22～10/24 | 受講料：5万円（申込期間）10/4必着 *詳細は[こちら](#)

●フードバレーとまち人材育成事業

特別講習「マーケティングと企業戦略」

帯広畜産大学と帯広市では、フードバレーとまち人材育成事業の取組みの一環として、広く一般市民を対象に特別講習「マーケティングと企業戦略」を開催します。

【日時など】（開催日）【講座①：マーケティング】9/30.10/7 【講座②：企業戦略】10/16.10/23 | 受講料：無料 |
（申込期間）9/17迄 *詳細は[こちら](#)

●スクラム十勝シンポジウム 2024

テーマ「今後の食料、農業及び農村について」

スクラム十勝は、十勝地域及び我が国並びに世界における食の安全及び安心の確立ひいては健全な食文化の構築に資するため、平成17年3月に十勝管内の公的研究施設で結成され、年1回のシンポジウムの開催など連携協力活動を行っています。

【日時など】（開催日）10/22 | 受講料：無料（申込期間）10/15必着 *詳細は[こちら](#)

「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演と交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用いただいています。

*リクエストは、お問い合わせフォームからお送りください。



PICK UP!

畜大 公開講座情報

10月から実施する公開講座情報をピックアップしてお届けいたします。

帯広畜産大学公開講座 令和6年度後期「市民開放授業」募集案内

学生が受講している授業科目の一部を市民の皆様にご公開しています。公開する授業科目は、基礎科学分野等の知識と興味を育むことを目的に、開講している授業です。(以下は、講座の一例です。) *詳細は[こちら](#)

【日時など】(実施期間) 2024/10/1~2025/2/21 | 受講料: 1講座当たり 9,200円 (申込期間) 2024/9/20 必着



* 土壌栽培学基礎 | 講師: 谷 昌幸 他 | 火曜日 13:00~14:30

持続的な作物生産を行う上で必要な土壌学、作物栄養学、植物育種学、作物保護学に関わる基礎的な知識について授業を行う。とくに、気象の要素や土壌の要素などの栽培環境、土壌の機能と肥料の利用、作物栽培に係る育種技術とバイオテクノロジー、病虫害防除や雑草防除などの作物保護について総合的に授業を行う。

* 食の安全学概論 | 講師: 仙北谷 康 他 | 木曜日 8:45~10:15

学際的な視点から、食の安全をめぐる問題、食に関わる危害要因、安全確保の考え方とそのシステムについて講義し、本学のカリキュラムにおける食の安全に関する学習の枠組みを提示する。



* 基盤教育総合II (科学の方法) | 講師: 渡邊 芳之 | 木曜日 16:30~18:00

科学を学び、科学研究を行うものに最低限必要な「科学というもの」についての基礎知識を、科学の目的と基本的論理、科学の歴史、科学研究の方法、科学と社会との関係という4つの側面から学ぶ。



* 技術相談のお問合せは[こちら](#)

[技術相談申込書](#)に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにて産学連携センターまでご送付ください。

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームを開設しています。プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください!

URL: <https://forms.gle/K4zm51tUDYgnb9uT8>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

発行: 国立大学法人北海道国立大学機構

帯広畜産大学 産学連携センター

産学連携推進室

(担当: 東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail: crcenter@obihiro.ac.jp

TEL : 0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol.14 2024.11.6

NEWS

企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報をニュースレターにて定期的に配信していきます。

気になる情報や分からないことがあればお問い合わせフォームまでお寄せください！

プラットフォームの参画状況

参画機関数 97 社（会員人数 120 名）です！

- 産 83 社
- 学 2 機関
- 官 8 機関
- 金 4 機関

プラットフォーム HP [はこちら](#)



第 2 回畜産シンポジウムを 開催します！

今年7月に本学に設置したミルク&チーズコンソーシアムの活動を広く知っていただくとともに、わが国の酪農・乳業を持続可能な産業として未来につなげるために開催いたします。

開催：11/28（木）第1部 15:30～18:00

第2部 18:15～19:30

場所：本学講堂（対面とオンライン）

* 詳細は [こちら](#)

受付中

第2回 畜大シンポジウム

新しい乳・乳製品の生産・製造流通・消費システムの構築に向けた「ミルク&チーズコンソーシアム」活動！日本の酪農の未来のために、今できること。

参加費
第1部：無料
第2部：3,000円

11/28(木)

第1部	15:30～18:00 (開場 15:00)	シンポジウム
会場：帯広畜産大学 講堂 & オンライン配信 (Zoom)		
第2部	18:15～19:30	情報交流会
会場：帯広畜産大学 かしむアラザコミュニケーションホール		
対象	生産者、畜業・酪農関係団体、乳業関係団体、民間企業、行政機関、試験研究機関、学生、親の方等、どなたでも参加できます。	
参加申込	申込先：事務局または委員の印刷申込書にてお申し込みください。 申込先：11/25 (月) https://www.obihiro.ac.jp/kyouka	

帯広畜産大学 講堂
オンライン配信 (第1部のみ)

今年6月に本学に設置したミルク&チーズコンソーシアムの活動を広く知っていただくとともに、わが国の酪農・乳業を持続可能な産業として未来につなげるため、現状把握と相互理解を促すことを目的に、酪農・牛乳・チーズ製造関係者の試問提供・意見交換を行う第2回となる畜大シンポジウムを開催します。

第1部 シンポジウムプログラム

「第38回 北海道 技術・ビジネス交流会 ビジネス EXPO」に参加します！

第38回の北海道最大級のビジネスイベントです。本学は最新の研究紹介や産学連携に繋がる技術PRのため参加します。ご興味のある方はぜひご来場ください。

開催：11月7日(木)・8日(金)

場所：アクセスサッポロ（札幌市白石区）

* 詳細は [こちら](#)（入場無料）

HISTORY

大学案内2025のパンフレット入口へ



公募・セミナー情報

& お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

●フードバレーとかち人材育成事業 特別講習「農業関連セミナー第2弾」

帯広畜産大学と帯広市では、フードバレーとかち人材育成事業の取組みの一環として、広く一般市民を対象に特別講習「農業関連セミナー第2弾」を開催します。*詳細は[こちら](#)

【日時など】（開催日）【講座①：北海道内の事故事例から見た「本当に効果がある」農作業安全対策】11/20.15:00～16:30
【講座②：北海道物流の現状と課題について】12/4.14:00～16:00 | 受講料：無料 |（申込期間）11/8迄

●令和6年度 HACCP・食品安全管理プログラム札幌セミナー

食品製造・加工に関わる方を対象に、すでに先進的にHACCPシステムを導入している食品加工企業の具体的な運用事例および食品安全に関する情報を提供します。

【日時など】（開催日）12/3.13:30～16:00 | 受講料：無料 |（申込期間）11/18迄 *詳細は[こちら](#)

●人間科学研究部門 第14回研究紹介セミナー

寺内准教授の研究紹介セミナー「(仮題)これからのアカデミックスキル、アカデミックライティングについて」を開催します。

【日時など】（開催日）11/25.12:10～12:40 | 会場：帯広畜産大学附属図書館1階 | 参加料：無料（事前申込不要）

*前回の開催の様子は[こちら](#)

第9回 帯広畜産大学 産学官金連携交流会 mini について 会場：中札内村 農村環境改善センター

第9回は、地域の課題である公共育成牧場の運営について、子牛を預ける農家と子牛を預かる公共育成牧場関係者や他の多様な村内関係者が一堂に会し、専門家の講演をヒントに今後の公共育成牧場の在り方について意見交換します。

【日時など】（開催日）11/25.13:30～16:00 | 参加料：無料 | 定員 30名 |（申込期間）11/22迄 *詳細は[こちら](#)

「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演と交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご利用いただいています。

*リクエストは、お問い合わせフォームからお送りください。



PICK UP!

畜大 公募情報

11月に公募予定の情報をピックアップしてお届けいたします。

令和6年度 帯広畜産大学地域共創ファンドの公募について

帯広畜産大学地域共創ファンドは、北海道の産業振興、道内企業等の課題解決や人材育成等のため、企業等連携プラットフォーム参画機関と大学との連携による研究開発コンソーシアムの構築及び共同研究の推進について支援するものです。教員と企業の連携を公募する支援型B)と支援型C)についてご紹介します。なお、支援型A)は教員のみが対象です。

【申請者】 本学所属の教員 | 【申請書提出期限】 2024/11/25 (月) | 【研究期間】 共同研究契約締結日から 2025/6/30 まで

☞ 支援型 B) コンソーシアム形成支援型 (最大 30 万円×1 件)

新たな研究開発を行うための連携機関を集め、コンソーシアムを構築するための資金を支援します。

(過去の採択課題) ※教員の役職は採択時のものです。

- ・令和3年度 草地管理・粗飼料生産検討コンソーシアム (小池正徳 教授)
- ・令和4年度 データ駆動型未利用資源活用コンソーシアムの構築 (宮下和夫 特任教授)
- ・令和5年度 帯広畜産大学・乳文化コンソーシアムの形成：要望の集約化と活動の明確化 (平田昌弘 教授)

☞ 支援型 C) 共同研究加速型 (最大 60 万円×1 件)

企業等集積プラットフォームに入会している企業等との共同研究を加速させるための資金を支援します。

(過去の採択課題) ※教員の役職は採択時のものです。

- ・令和3年度 1.食用海藻由来乳酸菌を用いたおからの発酵による保存性向上と発酵おからの食品への応用 (渡辺 純 教授)
2.北海道産食用植物原料からの機能性脂質の抽出および食用油の高付加価値化 (山下慎司 助教)
- ・令和4年度 1.北海道産牛肉の海外市場挑戦にあたり「最新の画像解析技術を用いた肉質評価技術」の活用方法に関する研究 (口田圭吾 教授)
2.酒粕の農業への実用化に向けた基礎的知見の取得と最適施肥方法の検討 (菅原雅之 准教授)
- ・令和5年度 1.ミロシナーゼ様活性を有する山麩由来乳酸菌による機能性向上に関する研究 (渡辺 純 教授)
2.エゾシカのロードキル対策に向けた行動解析とドライバーへの啓発に向けた試み (浅利裕伸 准教授)

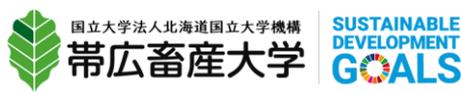
* 技術相談のお問合せはこちら

[技術相談申込書](#)に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにて産学連携センターまでご送付ください。

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームを開設しています。

プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください!

URL : <https://forms.gle/K4zm51tUDYgnb9uT8>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771

News Letter

Vol.15 2025.1.15



発行：

帯広畜産大学 産学連携センター

イベント開催のお知らせ

第2回畜大ンポジウムを 開催しました！

昨年11月28日、本学講堂において「新しい乳・乳製品の生産・製造流通・消費システムの構築に向けて」をテーマに、開催しました。会場とオンラインによる開催で学内外から計227名の方にご参加いただきました。



* 詳細は [こちら](#)

* ミルク & チーズコンソーシアムの
設置概要については [こちら](#)

プラットフォームの参画状況

参画機関数は 99社
(会員人数 122名) です！

産 85 社
学 2 機関
官 8 機関
金 4 機関

* プラットフォームHPは
[こちら](#)

産学官金連携交流会mini (第9回) を開催しました！

昨年11月25日、中札内村農村環境改善センターにて「適切な公共育成牧場運営を目指して」をテーマに、産学官金連携交流会mini（出張版）を開催しました。定員数の方にご参加いただきました。



* 詳細は [こちら](#)

帯広畜産大学地域共創ファンド の採択結果が公表されました！

令和6年度採択：3件

* 詳細は [こちら](#)

公募・セミナー情報

●令和7年度農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム

(2月開講科目) 農業経営に活かす農業政策 プログラム修了生や、プログラムへ関心がある方等を対象に、さらなる学びなおし及びプログラム内容に触れていただくことを目的に、農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラムの一部科目を部分開講します。

【日時など】2/4(火)18:00~20:00 | 受講形式：対面 | 受講料：8,000円(税込) |

申込期日：1/24(金) | *詳細は[こちら](#)

●フードバレーとかち人材育成事業

特別講習「ビジネスシーンでのRESASの活用」 RESAS（地域経済分析システム）の活用方法を学び、地域の現状・実態を把握することで、データを活用した事業戦略作成の考え方を習得することを目的とします。

【日時など】2/7(金)14:00~16:00 | 会場：本学農学情報基盤センター | 受講料：無料 |

*詳細は[こちら](#)

特別講習「AIとDXセミナー」 AIに関する基礎的理解を深めながら、農畜産分野におけるAIの導入効果や現状どのように活用されているかを事例を通して解説した上で、AIを活用した課題解決方法をグループワークを通して学びます。

【日時など】2/17(月)14:00~17:00 | 会場：本学講義棟21・22番講義室 | 参加料：無料 |

*詳細は[こちら](#)

お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからの
リクエストや相談、お問い合わせを
受付するフォームです。



発行：

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室

(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

TEL : 0155-49-5771

畜大研究情報

(論文発表) ドローンを使って採草地のマメ科率をマッピングする技術を開発

本学環境農学研究部門准教授 川村健介
生命・食料科学研究部門教授 花田正明

本学環境農学研究部門准教授 川村健介、大学院畜産学研究科 大越証路（博士前期課程2年）、生命・食料科学研究部門教授 花田正明らのグループは、北海道立総合研究機構（以下道総研）酪農試験場、山梨富士山科学研究所、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下農研機構）北海道農業研究センター、農研機構農業環境研究部門との共同研究として、無人航空機（UAV、以下ドローン）の空撮画像を活用して、採草地のマメ科牧草の割合（マメ科率）を高精度に評価・マッピングする技術を開発しました。

*詳しくは[プレス発表資料](#)をご覧ください。

News Letter

Vol.16 2025.3.13



発行：
帯広畜産大学 産学連携センター

イベント開催のお知らせ

帯広畜産大学とカルビーポテト 株式会社の共同研究成果 発表会を開催しました！

帯広畜産大学とカルビーポテト株式会社は、バレイショ栽培において、持続的に高品質かつ高収量を達成できる施肥技術や土壌改良について、生産現場への技術普及を目指した共同研究を行っています。

3月13日（木）の10回目となる発表会には、250名の方にご参加いただきました。



プラットフォームの参画状況

参画機関数は 99社
(会員人数 122名) です！

- 産 85 社
- 学 2 機関
- 官 8 機関
- 金 4 機関

* プラットフォームHPは
[こちら](#)

オープンイノベーションセミナー (令和6年度) を開催します。

北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター（通称：ACE）が3月18日に「産×学×官で北海道の未来を共創する」をテーマにイベントを開催いたします。

開催案内ポスター：（右のとおり）

場所：エア・ウォーターの森（札幌市）

* 詳細は [こちら](#)

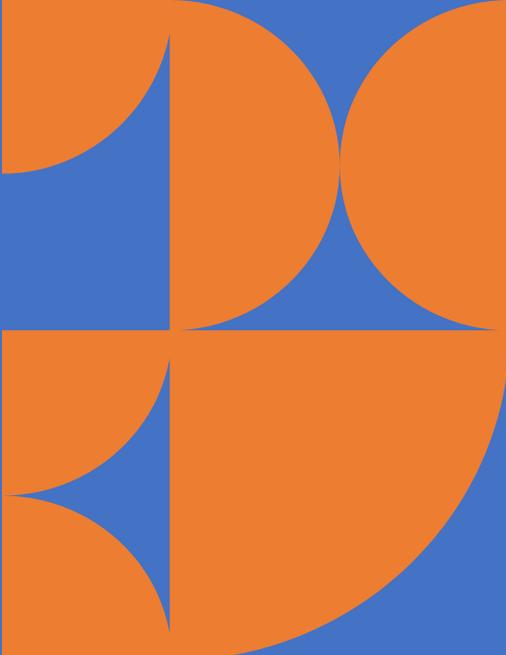
人口減少・高齢化が全国を上回るスピードで進行する北海道。医療・介護に係る社会保障負担の増加をはじめ、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足、仕事と介護の両立困難に伴う労働生産性低下など、地域社会・経済の持続性に対する深刻な影響が懸念される。こうした中、ヘルスケアサービスによる健康寿命の延伸や家族介護者の負担軽減が期待されること、先端技術の活用や見分野を横断・融合する新事業創出、すなわちイノベーションが利活用促進の鍵となるのではないかと。本セミナーでは、産×学×官のオープンイノベーションによるヘルスケア産業の創出・振興と社会課題解決に向けて、その現在地と今後の展望を議論する。

産×学×官で
北海道の未来を共創する
北海道におけるヘルスケアイノベーション

新しい健康社会の実現に向けた
産×学×官の未来を共創する

PROGRAM

- 14:30~14:35 主催者挨拶
帯広畜産大学 産学連携センター 長官 藤田 雅之 氏
オープンイノベーションセンター 長官 藤田 雅之 氏 玉井 健一 氏
- 14:35~15:45 基調講演
「エア・ウォーターの森」から
北海道の社会課題を解決する
エア・ウォーター北海道株式会社
事業企画部 イノベーション推進グループ長 榎方 祐介 氏
- 15:45~15:55 休憩
- 15:55~16:10 施策説明
新しい健康社会の実現に向けた経済産業省の施策について
経済産業省 北海道経済産業局 地域経済課 課長 寺澤 大輔 氏
- 16:10~17:05 パネルディスカッション
オープンイノベーションによるヘルスケア産業の
創出・振興と社会課題解決に向けて
エア・ウォーター北海道株式会社
代表取締役社長 藤田 雅之 氏



公募・セミナー情報

●「かに星雲の観測イメージの高解像度化とデータ解析」

ひとみ衛星に搭載された硬X線望遠鏡で観測した「かに星雲」のイメージを高解像度化する手法について講師がお話します。

【日時など】3/19(水) 13:30~15:00 | 会場：帯広畜産大学附属図書館 | 参加費：無料 |

*詳細は[こちら](#)

●帯広畜産大学公開講座 令和7年度前期「市民開放授業」募集

本学では、学生が受講している授業科目の一部を市民の皆様公開しています。

【日時など】実施期間：4/7~8/15の間で全15回程度 | 受講料：1講座当たり 9,200 円 |

*詳細は[こちら](#)

お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。



発行：

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室

(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

TEL : 0155-49-5771

「食肉の嗜好性に関するアンケート」ご協力をお願い

佐々木瑞希准教授（獣医学研究部門）らの研究グループは、食肉に由来する感染症について研究を行なっています。地域による食文化（食べる頻度の高い動物種や調理法）と食肉由来感染症の発生との関連性を明らかにするため、食肉の嗜好性に関するアンケートを実施いたします。（所要時間：3分程度 | 匿名回答）*詳細は[こちら](#)



「大学見学を希望される方へ」

【個人で大学見学をご希望の方】学びあいのキャンパスとして、地域の方に帯広畜産大学を身近に感じてもらうため、いくつかの留意点がありますが、キャンパス内はいつでもご見学いただけます。*詳細は[こちら](#)



畜大研究情報

（受賞）日本応用糖質科学会北海道支部奨励賞を受賞

生命・食料科学研究部門 助教 サマンティ・ベルボラゲ

生命・食料科学研究部門のサマンティ・ベルボラゲ助教が日本応用糖質科学会北海道支部奨励賞を受賞しました。受賞研究の演題は「各種糖質系作物における澱粉の理化学特性や難消化性糖質の健康機能性」です。

本研究により、でんぷんの性質は品種間で、また同じ品種であっても栽培地によって大きく異なることが明らかになりました。さらに、微生物DNAの高度なバイオインフォマテイクス解析を用いて、レジスタントカーボハイドレートの腸内発酵に関わる代謝経路の発現が、生のデンプンと加工デンプン（加熱水分+冷蔵保存）とで異なることが明らかになりました。*詳しくは[こちら](#)